

Vocational Service

職業奉仕

卓話講習会

【次 第】

日 時：2024年11月20（水）16:00～17:30

司 会：荒金正之副委員長

1. 開会 近藤太郎委員長 挨拶
2. 卓話モデル「日常における理念の実践」解説 奥村隆司
3. 質疑応答 近藤太郎委員長
4. 閉会挨拶 武枝敏之副委員長
5. 閉会

Vocational Service

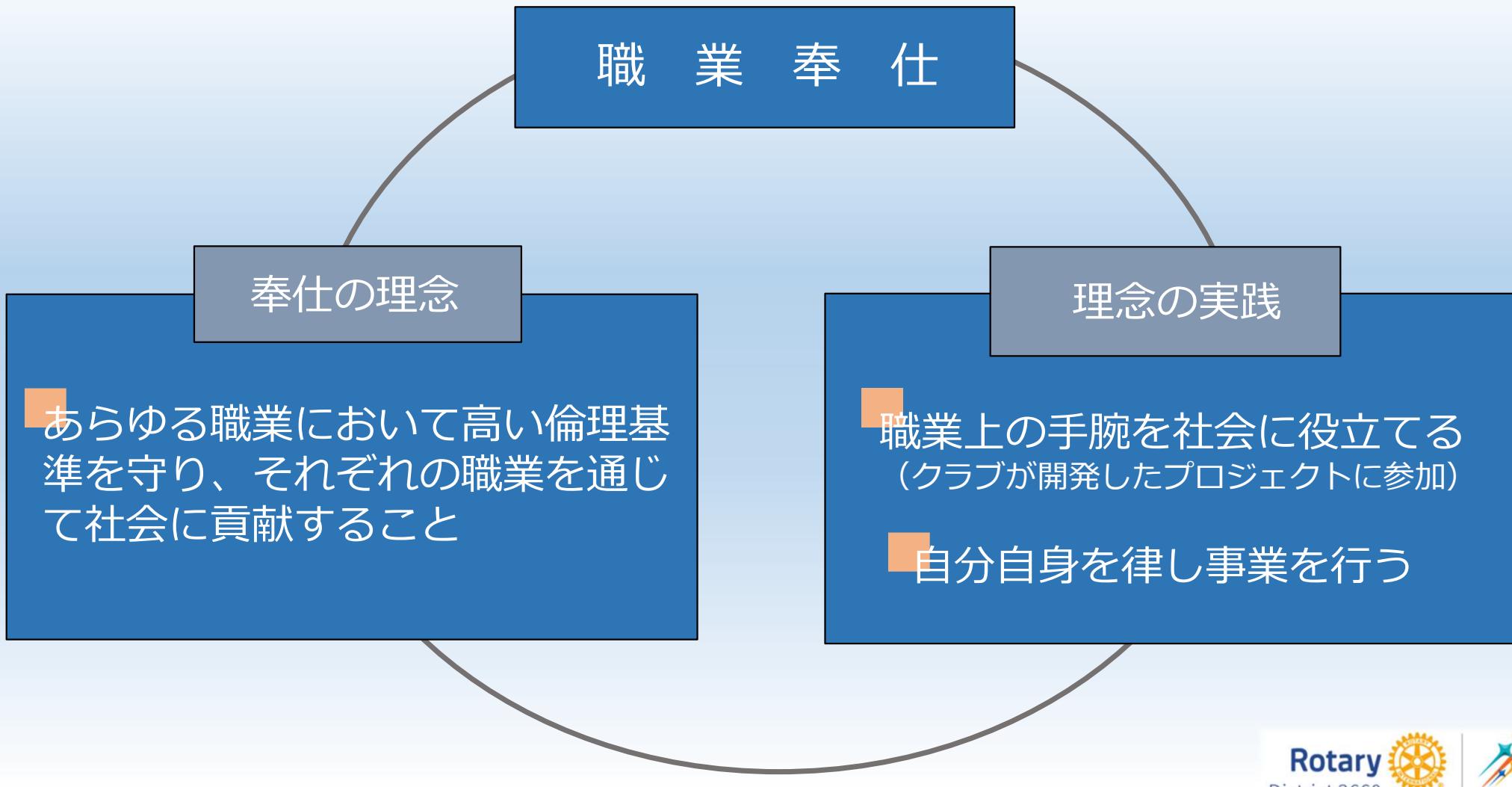
職業奉仕

職業奉仕とは

自身の職業を通じて社会の役に立つこと



奉仕の理念を実践できるもっとも身近な方法



自分を律し事業を行う

会員に伝えやすいテーマ（特に入会歴の浅い会員向け）

ロータリアンの行動が社会に与える影響を認識してもらう

自分自身や自身の事業が成長できる可能性を理解してもらう

職業奉仕 | 日常における理念の実践

2660地区 地区職業奉仕委員会



標準ロータリークラブ定款 第6条-2

奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳の水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。

会員の役割には、ロータリーの理念に従って**自分自身を律し、事業を行うこと**、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、**クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。**

職業に携わる中で奉仕の理念を実践

自分自身を律し事業を行うこと
職業上の手腕を社会に役立てる

ロータリーの行動規範

全会員（ロータリアンおよびローターアクター）には以下のことが求められる

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 他者に公平に接し、敬意をもって接すること。これには、他者を尊重する言葉を使う、サポートを示す、温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する、多様性を重んじるという「ロータリーの多様性・公平さ・インクルージョン（DEI）の行動規範」を遵守することが含まれる。
3. ロータリーを通じて自分の職業スキルを生かし、地域社会や世界のほかの地域の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリー会員の評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリー関連行事のすべての行動規範に従う。

（2023年4月理事会会合、決定114号）

■ **ロータリアンは高い倫理観を持って職業に携わることが求められている**

倫理観

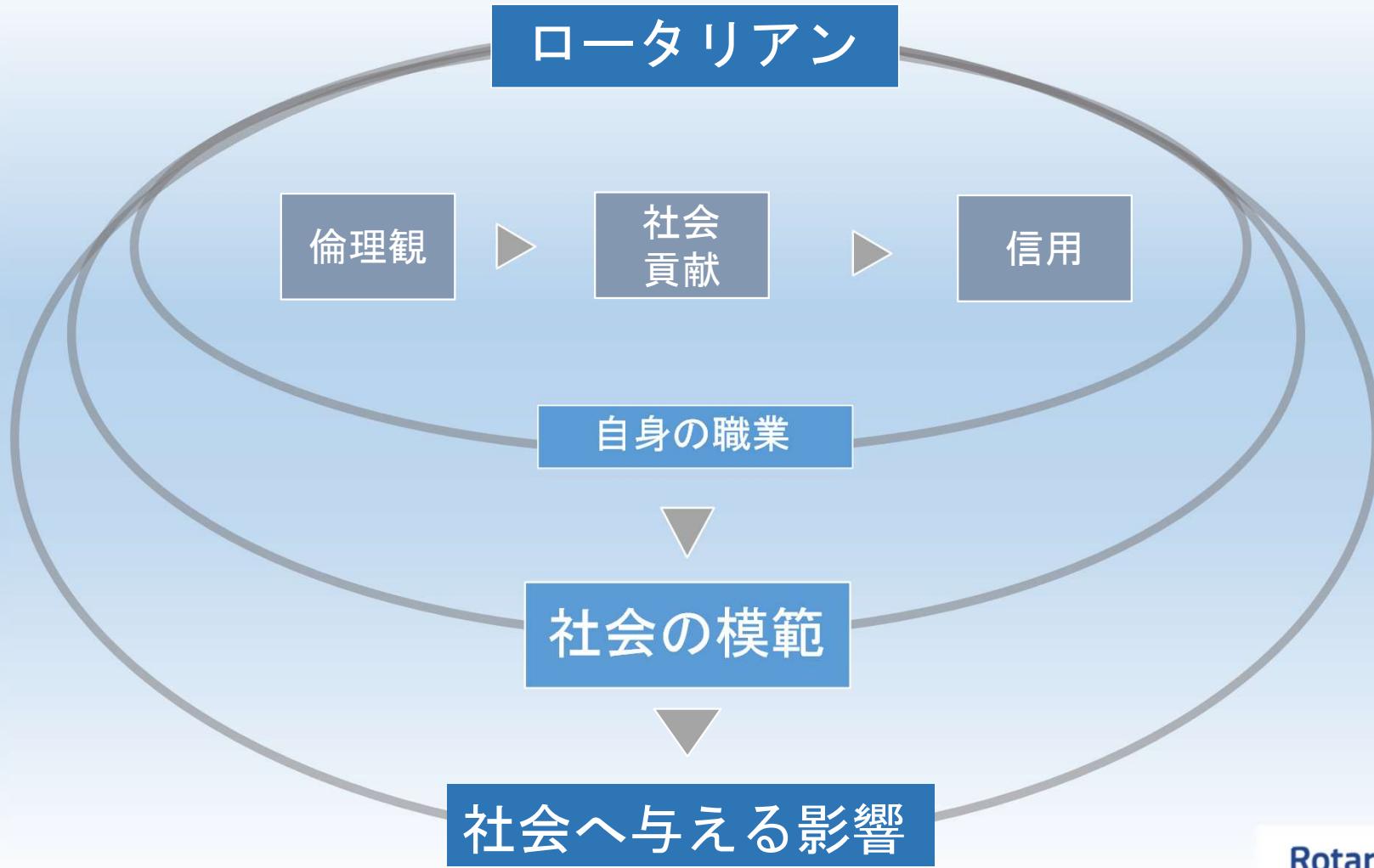
人間の行動や価値観について、何が正しいか、
何が間違っているかを判断する基準。
また、その判断に基づく行動や態度。（広辞苑）

- ↳ 倫理観は信頼を築くための基礎
- ↳ 信頼は人間関係やビジネスにおける重要な要素

ロータリアンとしての倫理観は、奉仕の理念と深く結びついている

「ロータリーが私たちにとって何を意味するにせよ、
世界はその活動成果によってロータリーを知るのです」

ポールハリス
Paul Harris



職業奉仕採点表

1. ロータリーの会員であることにより、職業を通じての私の社会奉仕活動は増加しました。
2. 私は適正な利益に対し、適正な価値あるものを提供します。
3. 私は必要な品物またはサービスのみを販売します。
4. 私の商売の信条は新設であります。
5. 私は、たとえそれが商習慣であっても、如何なる形の賄賂（わいろ）も回避します。
6. 私は商売上の競争相手に対しても友好的であり、共通のサービスを改善するように協力します。
7. 私は商業上の高い道徳的水準を理解し実践するよう青少年を援助します。
8. 私の広告は私の生産品を正しく表示します。
9. 私は道徳的指導や支持のため、同業組合において熱心に働きます。
10. 私は従業員の提案を採用します。
11. 私は従業員に十分昇進の機会を与えます。
12. 私は、従業員の過ちに対して私にも責任があるときは、それを分担します。
13. 私は職業奉仕に対する理解を深めるため、奉仕こそわがつとめを読みました。
14. 私は私の職場においてロータリーの奉仕の理想を分かち合う手段として、四つのテストを使用します。
15. 私は私の職業において、できるだけ他の人々を援助します。
16. 私は諸勘定を速やかに支払います。
17. 私は賠償請求、苦情および紛争の処理に関し、相手方の権利をも考慮します。
18. 私は従業員に適正な賃金を払います。
19. 私は従業員の賃金、保険金請求、税金の申告、その他諸会計書類の作成に当たり、正直を旨とします。
20. 私が実践することによって、ロータリーは正しく評価されるものと信じます。

『職業奉仕の励どころ』

昭和四十五年一月二十七日初版発行 昭和四十六年十月一日改訂再版
初版編集 国際ロータリー第三六五区 職業奉仕委員会



1. 真実かどうか

私たちが日々の業務や人間関係において行うすべての行動は、真実であるかを問い合わせることが重要です。偽りや誤解を招く行動は、信頼を失う原因となります。

2. みんなに公平か

公平さを保つことは、職業倫理の根幹です。どのような状況でも、公平に判断し、公平に扱うことが求められます。

3. 好意と友情を深めるか

私たちの行動が、他者との好意と友情を深めるものであるかを考えます。職場だけでなく、社会全体での信頼関係を築くことが大切です。

4. みんなのためになるかどうか

私たちの行動が、個人だけでなく、社会全体のためになるかを問います。これにより、職業を通じた社会貢献が実現します。

職業倫理として考える 「四つのテスト」

ロータリーの公式標語

「超我の奉仕」

利己的でないボランティア奉仕の哲学を
最もよく言い表している言葉（ロータリーHP引用）

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

アーサー・フレデリック・シェルドン提唱



報いられるの意味は？

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」



職業奉仕とは

奉仕の理念を実践できるもっとも身近な方法



自身の職業で社会へ奉仕できるチャンス

職業人として成長できるチャンス

皆さんの職業を通じて
世の中をより良いものに変えていきましょう。

ご清聴ありがとうございました